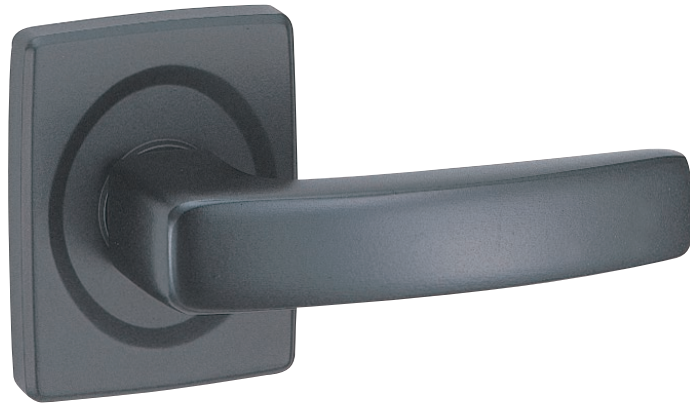


受注生産品
(納期約2週間～)

レバー
ハンドル

Hi-LEVER

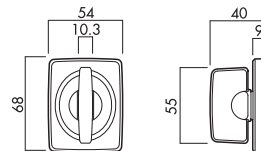
戸襖錠



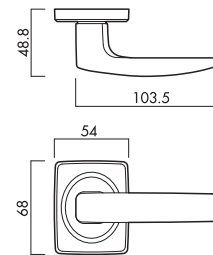
和室側 L2

材 質：和室側=[座]亜鉛合金(塗装)+
[小レバー]アルミ合金(塗装)
[ツマミ]亜鉛合金(塗装)
仕 上：和室側=黒
バックセット：60mm
扉厚対応：28～40mm
33～40mm(SQ角座との組み合わせ時)

D2



L2
Lsu2



廊下側もしくは洋室側

各種レバーハンドル・座より選べます。
[ご注意]レバーハンドルの形状によっては、吊元
(右/左)の指定があります。



[在庫品]
・廊下側ハンドル:No.32・33
・和室側戸襖座:D2M 仕上:N・SG
(写真は32・丸座、左吊[L])
戸襖錠の丸座はφ50となります。

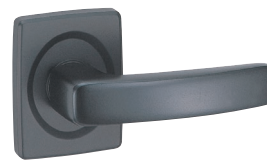
和室側

戸襖錠(ツマミ型) 戸襖錠(小レバー型)

D2



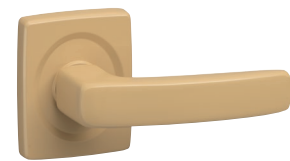
L2



スタンダードタイプ 操作しやすい和調レバータイプ
※価格は空錠と同値です。

戸襖錠(小レバー型)

Lsu2



ベージュ色和調レバータイプ(納期約2週間)
※価格は黒色から970円アップとなります。

取付座対応一覧

座形状	記号	扉厚対応
丸座	□2M	28～40mm
小判座	□2K13	
角長座	□2H15	28～40mm
SQ角座	□2SQ(J)	33～40mm
YB横長角座	対応不可	

□にはD・L・Lsuのいずれかが入ります。
(両面戸襖:製作不可)
ZB色のレバーハンドルとの組み合わせ不可。

戸襖錠の指定方法

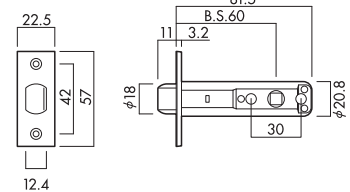
- ・廊下側の①ハンドル形状と③座の形状(丸座・小判座等)および④仕上を選択します。
- ・②和室側の戸襖座を3種類から選択します。
- ・⑤吊元を指定します。廊下側から見て丁番が左の場合は左吊り[L]、右の場合は右吊り[R]となります。

例

AL-32-D2M-N(L)
① ② ③ ④ ⑤
AL-66A-L2SQ-Cr(R)

- ①ハンドル形状
- ②和室側形状
- ③座形状
- ④仕上(廊下側ハンドル仕上)
- ⑤吊元

チューブラ錠

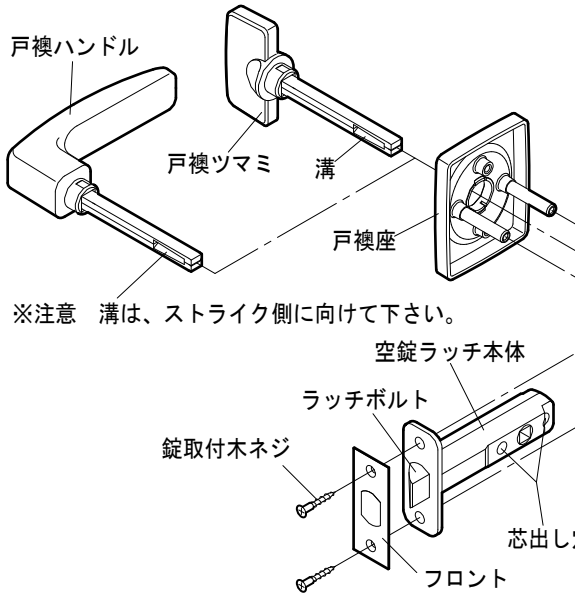


※戸襖錠はバックセット60mmのAL戸襖用チューブラ錠となります。

丸座 戸襖錠 取付説明書／ゲージ

一般住宅屋内専用
(浴室は使用不可)

※本製品は、一般住宅屋内専用です。
玄関や屋外では使用しないで下さい。



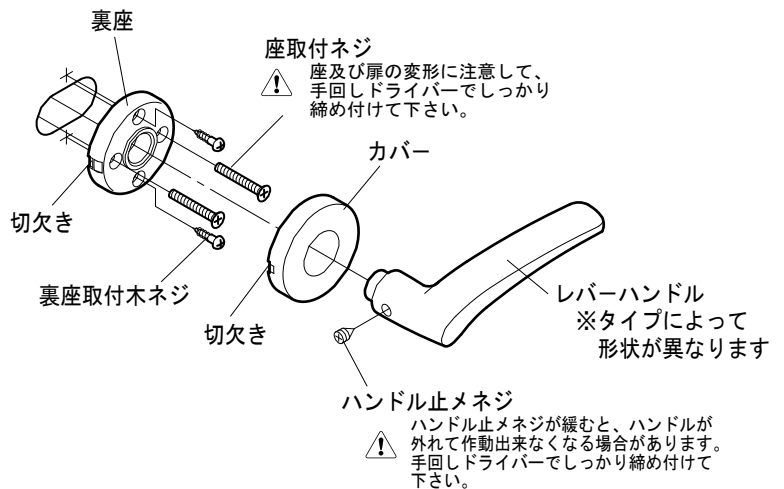
取付上の注意



電動ドライバーは
使用しないで下さい。

責任施工を行い、トラブルの無い様ご注意ください。

- ・ネジの締め過ぎによりハンドルに傷を付ける、ネジをこわす、座の変形、扉のヘコミによる作動不良などを起します。
- ・ネジの締め付け不足により、ハンドルや座がガタガタし、いづれ外れてしまい、重大な事故へつながります。



取付方法

1. 取付型紙を利用して、扉に彫込みをして下さい。
2. 空錠ラッチ本体を、ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてから扉に差込み、フロントを取付け、錠取付木ネジで固定して下さい。
3. 戸襖座を空錠ラッチの芯出し穴に差込み、反対側の裏座と座取付ネジで仮止めて下さい。
4. 戸襖ツマミ (ハンドル) の角芯の溝をストライク側に向けて、空錠ラッチ本体に差込みます。反対側からレバーハンドルを差込みます。
5. 戸襖ツマミ (ハンドル) 及びレバーハンドルがスムーズに動くことを確認しながら、内外の座を座取付ネジで締め付けて下さい。
6. レバーハンドルを一旦抜いてから、裏座取付木ネジで固定して下さい。
7. カバーの切欠きを裏座の切欠きに合わせて、はめ込んで下さい。
8. レバーハンドルを差込み、ハンドル止メネジで固定して下さい。
9. ストライクは、ラッチボルトの位置に合わせて取付けて下さい。

⚠ 取付完了後は必ず作動確認を行ない、正常な動きを確認して下さい。

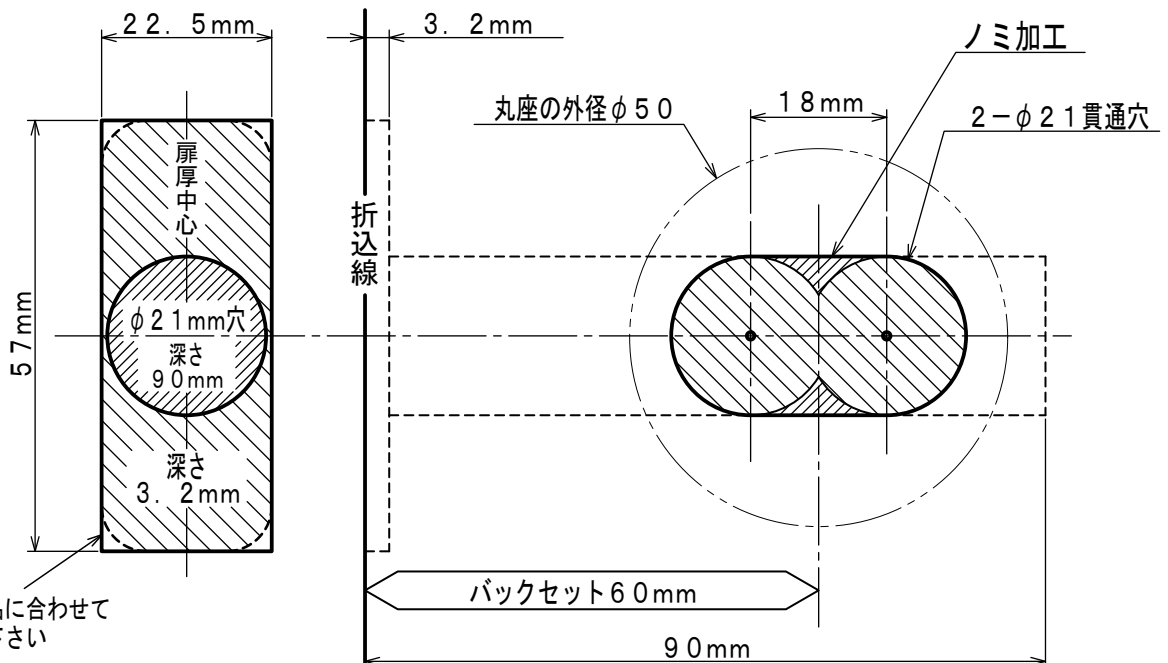
切り取り線

取付型紙

使用可能扉厚
28～40mm

⚠ 注意

ドア表面の穴を先に
横手面からの穴を後
に加工して下さい。




フロントの角形状は現品に合わせて
角又はR6で加工して下さい

SQ座 戸襖錠 取付説明書／ゲージ

一般住宅屋内専用
(浴室は使用不可)

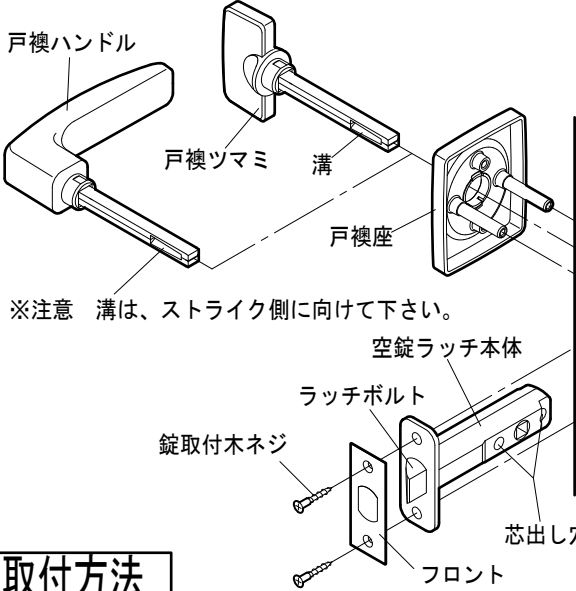
※本製品は、一般住宅屋内専用です。
玄関や屋外では使用しないで下さい。

取付上の注意



電動ドライバーは使用しないで下さい。
責任施工を行い、トラブルの無い様ご注意ください。

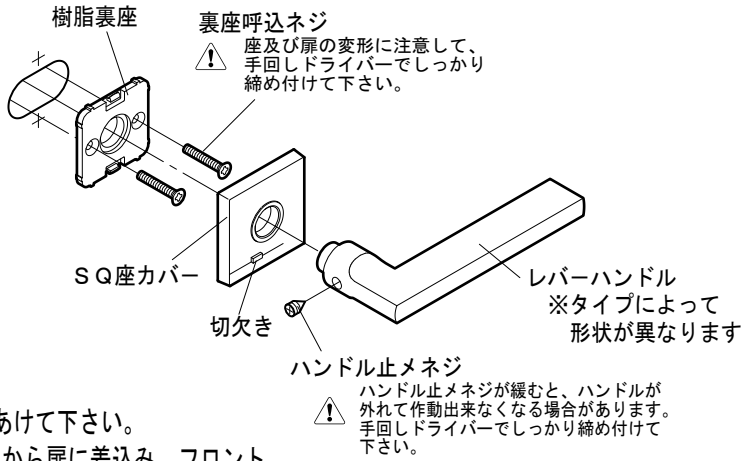
- ・ネジの締め過ぎによりハンドルに傷を付ける、ネジをこわす、座の変形、扉のヘコミによる作動不良などを起します。
- ・ネジの締め付け不足により、ハンドルや座がガタガタし、いづれ外れてしまい、重大な事故へつながります。



※注意 溝は、ストライク側に向けて下さい。

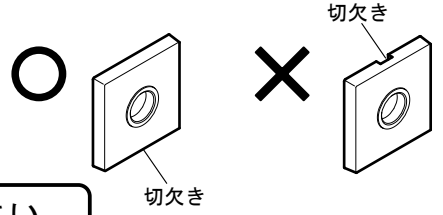
取付方法

1. 取付型紙を利用して、扉に彫込みをして下さい。
※注意 ドア面の切欠きは、レバーハンドル側から正確に穴をあけて下さい。
2. 空錠ラッチ本体を、ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてから扉に差込み、フロントを取付け、錠取付木ネジで固定して下さい。
3. 戸襖座を空錠ラッチの芯出し穴に差込み、樹脂裏座と裏座呼込ネジで仮止めして下さい。
4. 戸襖ツマミ (ハンドル) の角芯の溝をストライク側に向けて、空錠ラッチ本体に差込みます。反対側からレバーハンドルを差込みます。
5. 戸襖ツマミ (ハンドル) 及びレバーハンドルがスムーズに動くことを確認しながら、内外の座を裏座呼込ネジで締め付けて下さい。
6. レバーハンドルを一旦抜いてから、座カバーの切欠きを下にしてはめ込んで下さい。
7. レバーハンドルを差込み、ハンドル止メネジで固定して下さい。
8. ストライクは、ラッチボルトの位置に合わせて取付けて下さい。



座カバーの切欠きの向きにご注意下さい

切欠きが下側になるように取付けて下さい。



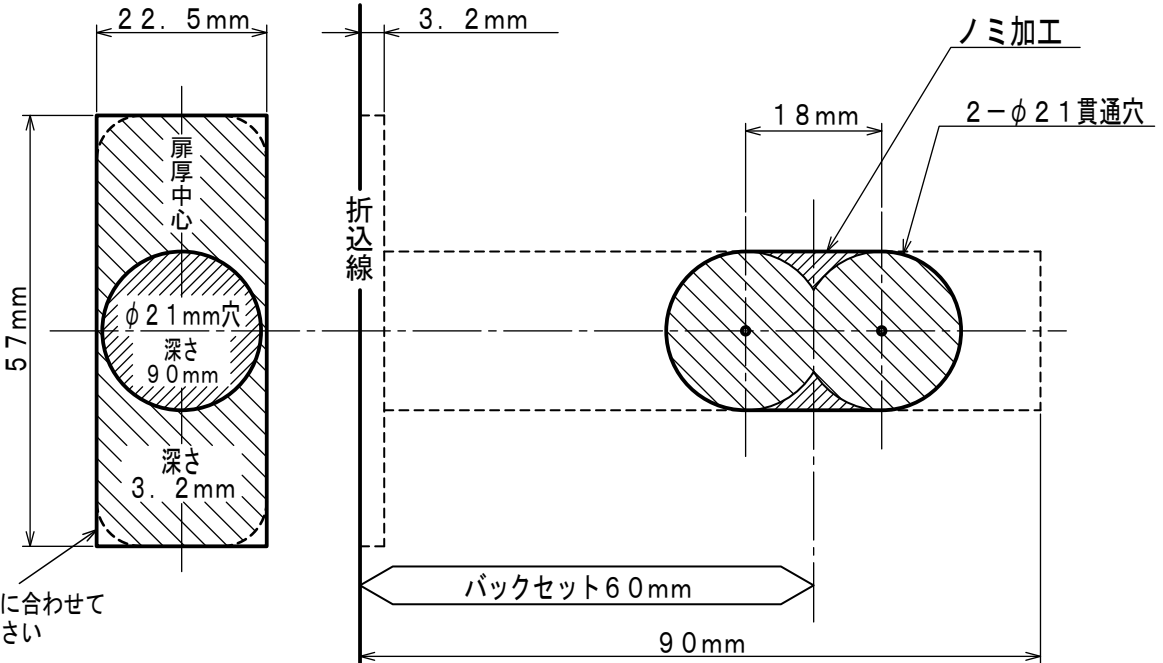
⚠ 取付完了後は必ず作動確認を行ない、正常な動きを確認して下さい。

切り取り線

取付型紙

使用可能扉厚
33～40mm

⚠ 注意
ドア表面の穴を先に横手面からの穴を後に加工して下さい。



フロントの角形状は現品に合わせて角又はR6で加工して下さい

ユーザー様への取扱説明書

安全の為のお願い

前ページの錠本体は、乱暴な操作・ドアや枠の反りなどでスムーズに操作が出来ない状態で使用を続けると、内部のメカが破損します。少しでも動きが悪い場合は、直ぐの交換をお勧め致します。

そのままご使用になると、ドアの開閉が出来なくなり閉じ込めなどの重大な事故の原因になります。

年に一度以上はネジ（ハンドル止メネジ・座呼込ネジ）の緩み等の点検をお願いすると共に、ご使用方法・頻度等によっても異なりますが、ご使用期間10年位をめどに錠本体の交換をお勧めしますが、丁寧に使用し、時折の潤滑油の注油等をして頂ければより長期間ご使用頂けます。

お取替えのお求めは、建築金物店、ホームセンターにお申し込み下さい。

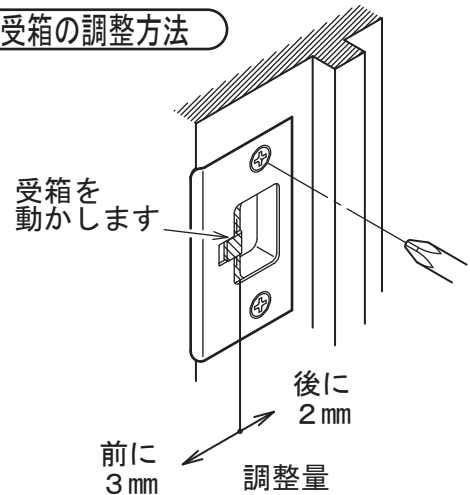
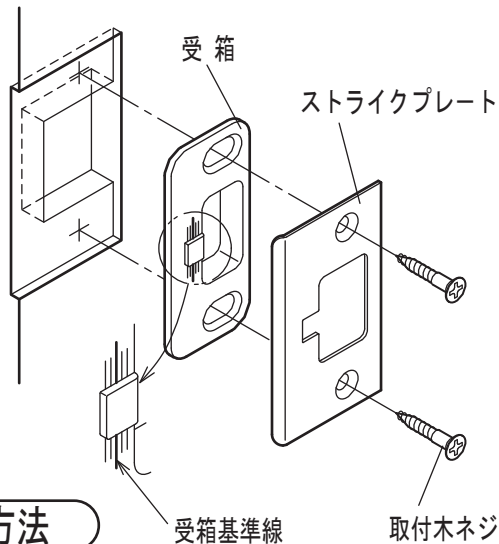
表面のお手入れについて

- レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないで下さい。
- 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
- 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
- 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に少量の中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

調整ストライク (S25) 標準品取付図

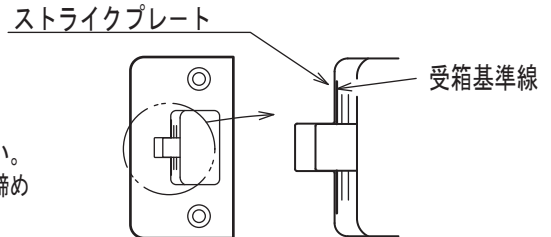
オプション品をご使用になる場合は、専用の切り欠きを行なって下さい。

受箱の調整方法



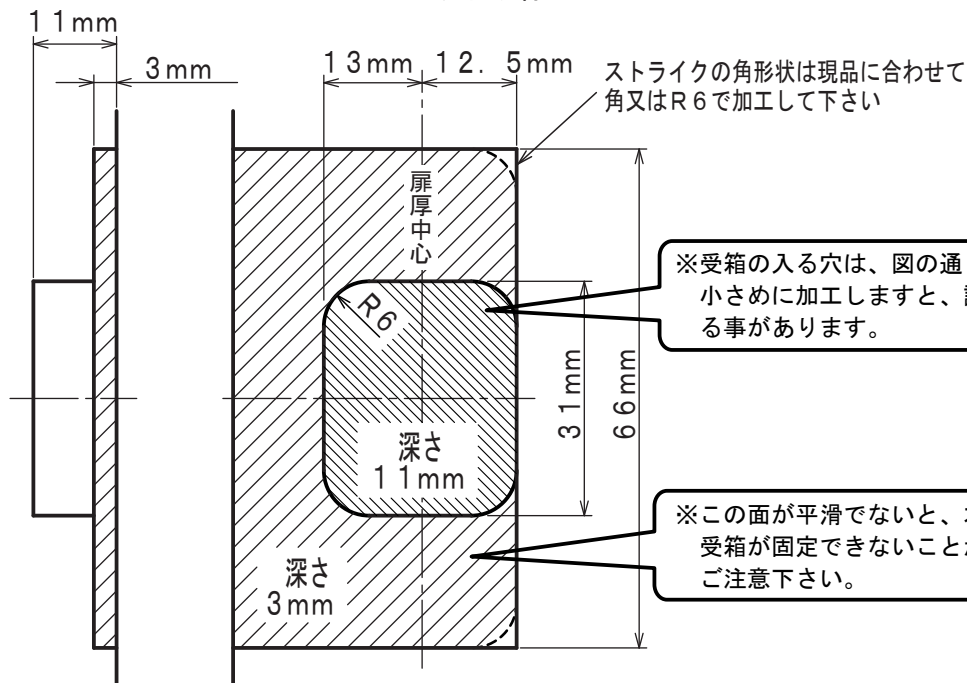
取付方法

- 取付型紙を利用して、枠に彫込みをして下さい。
- 受箱基準線をストライクプレートに合わせた状態（調整基準位置）で仮止めして下さい。
- 「受箱の調整方法」を参考に、ラッチとのガタがなくなるよう調整し、取付木ネジを締め込んで固定して下さい。



切り取り線

取付型紙



※受箱の入る穴は、図の通り加工して下さい。小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。

※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意下さい。

ユーザー様への取扱説明書

安全の為のお願い

前ページの錠本体は、乱暴な操作・ドアや枠の反りなどでスムーズに操作が出来ない状態で使用を続けると、内部のメカが破損します。少しでも動きが悪い場合は、直ぐの交換をお勧め致します。

そのままご使用になると、ドアの開閉が出来なくなり閉じ込めなどの重大な事故の原因になります。

年に一度以上はネジ（ハンドル止メネジ・座呼込ネジ）の緩み等の点検をお願いすると共に、ご使用方法・頻度等によっても異なりますが、ご使用期間10年位をめどに錠本体の交換をお勧めしますが、丁寧に使用し、時折の潤滑油の注油等をして頂ければより長期間ご使用頂けます。

お取替えのお求めは、建築金物店、ホームセンターにお申し込み下さい。

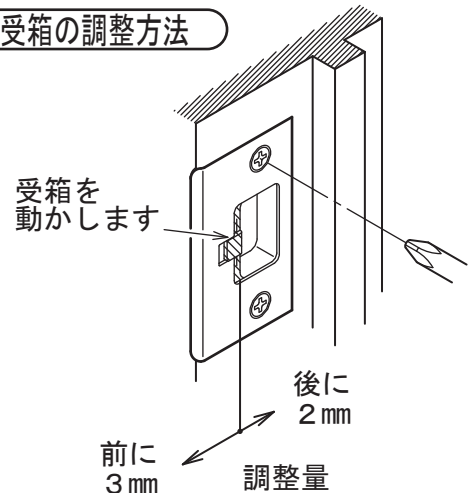
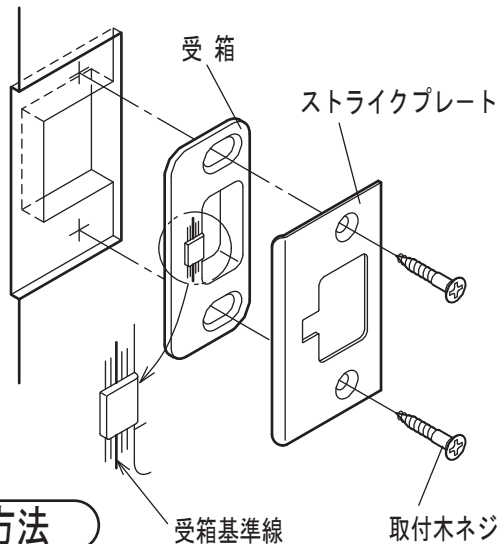
表面のお手入れについて

- レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないで下さい。
- 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
- 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
- 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に少量の中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

調整ストライク（S25） 標準品取付図

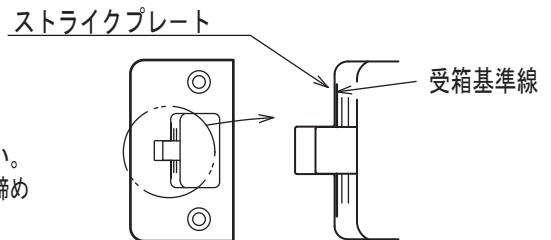
オプション品をご使用になる場合は、専用の切り欠きを行なって下さい。

受箱の調整方法



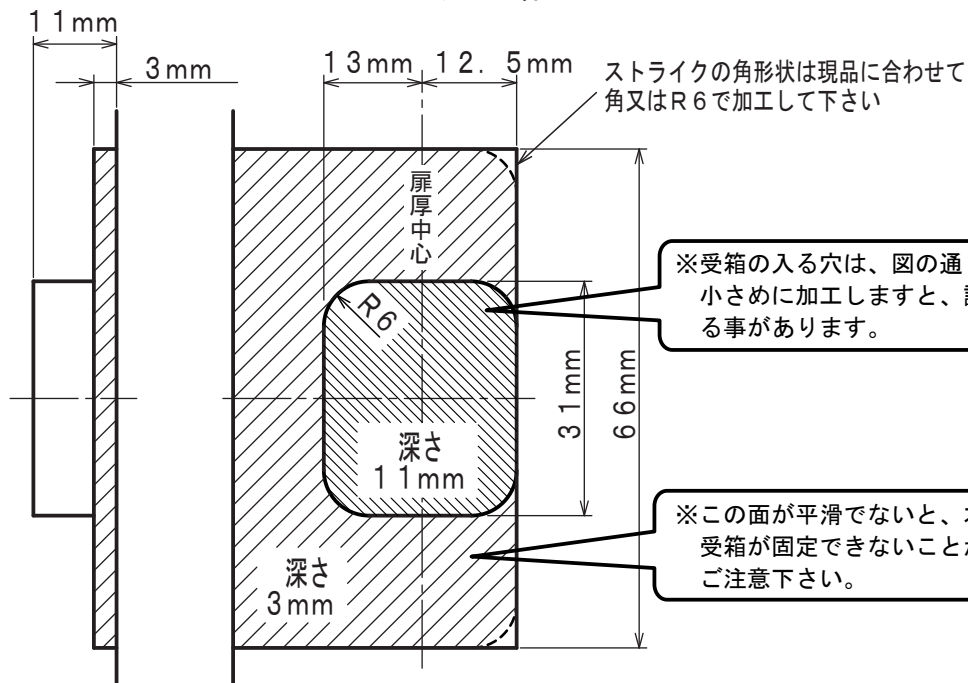
取付方法

- 取付型紙を利用して、枠に彫込みをして下さい。
- 受箱基準線をストライクプレートに合わせた状態（調整基準位置）で仮止めして下さい。
- 「受箱の調整方法」を参考に、ラッチとのガタがなくなるよう調整し、取付木ネジを締め込んで固定して下さい。



切り取り線

取付型紙



※受箱の入る穴は、図の通り加工して下さい。小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。

※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意下さい。